

テーマ：ワクチン①

新型コロナウイルスのワクチンが2月中旬から始まりました。例年、インフルエンザワクチンの時期になると「ワクチンをして、かかって意味がないからしない」と言う人がいますが、本当に「意味がない」のでしょうか？

車に乗るときシートベルトをします。エアバッグもあります。それでも事故にあうから「意味がない」でしょうか？シートベルトやエアバッグは事故を防ぐためではなく、事故の際、ケガを軽くするためのものです。

ワクチンも同じです。ワクチンをしても病原体が人の体を避けるわけではないので感染はします。でも、ワクチンで免疫系がその病原体を予習できるため、圧倒的に早く反応して病原体の増殖を防ぐから、症状が軽くてすむのです。

小児科 菅尚浩



よくあるご質問 Q & A

Q 医師会病院を受診するには紹介状が必要と聞いたのですが…

A 紹介状がなくても受診できます。どうぞお越しください。

Q 午後の診療はありますか？

A 診療科により異なります。お電話にてお問い合わせください。 TEL:0940-37-1188



〒811-3431 福岡県宗像市田熊5丁目5-3 TEL 0940-37-1188

アクセス方法

- JR東郷駅より 徒歩15分、タクシーで3分
- 西鉄バス（2系統又は3系統） 東郷駅東口バス停下車 徒歩7分
- 車でお越しの方 若宮ICより車で20分 古賀ICより車で20分



みらい

ご自由にお持ち帰りください

はじめまして 宗像医師会病院です



Topics

医療型福祉避難所をご利用いただきました。

昨年9月の大型台風10号の接近に際し「医療型福祉避難所」を開設し、24時間人工呼吸器を使用されている方とご家族が利用されました。初めての開設でしたが、事前の訓練や在宅医療チームの協力を得て、無事にご自宅に戻られました。

新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んでいます。安心してご来院ください。

当院にご来院される皆様には、正面玄関開錠時間（8時）の変更や健康チェック、面会の制限などによりご迷惑をおかけしております。

診療科目のご案内

ご挨拶

この度、当院の広報誌「みらい」を創刊することになりました。当院は昭和61年（1986年）10月に開院し、もうすぐ35年になるとしております。この間、福津市・宗像市の住民の皆様が病気になった時に安心できるよう医療を提供してまいりました。これからも、地域に根付いた病院としての役割を果たし、皆様のお役に立つ情報を発信したいという想いをこめてこの広報誌の名前を「みらい」としました。

今回の創刊号では「病院の概略を知っていただくこと」をテーマとした誌面づくりをいたしました。当院の基本理念は「患者さん中心」の医療を実践します。です。当たり前なことと言えば当たり前のことではありますが、患者さんにとっての最適な医療が提供できるよう、ご本人やご家族に十分に説明し、ご納得していただける医療を安全に提供することを心がけています。

当院ではさまざまな病気に対応していますが、特に消化器（胃、大腸、肝臓、胆のう、すい臓）のがん、心臓病、腎臓病、糖尿病、肝臓病、関節リウマチなどの膠原病、血液疾患に関しては専門的な治療をおこなっています。令和

2年春からは小児科病棟も再開しました。また、健診センターではがんや生活習慣病などの病気の早期発見にも力を入れています。がんは日本人の2人に1人がかかると言われており、住民の皆様にとっても大きな関心事とします。当院では、消化器のがんや乳がんを中心に、検診、診断、治療（内視鏡治療、手術、抗がん剤）と切れ目なく、がんを診る体制を整えてきました。皆様のお住まいに近い当院で専門の医師と相談できるメリットは大きいと考えております。当院での対応が難しいがんにつきましては、九州大学病院、九州がんセンター、福岡東医療センターなどのがん拠点病院にご紹介させていただきます。残念ながらがんが進行し治療が難しい状態となった場合は、緩和ケア病棟（ホスピス）での療養もおこなっております。

まだコロナ禍にはありますが、感染対策も行いながら診療をおこなっております。「みらい」を通じて住民の皆様にご院のことをもって知っていただき、お気軽にご院をご利用いただければ幸いです。

宗像医師会病院 院長
伊東 裕幸

病院の理念・基本方針

理念 「患者さん中心」の医療を実践します。

基本方針

- 患者さんの意思と人権を尊重した医療を行います。
- 患者さんにとって最良の医療を多職種で提供します。
- 他の医療機関と連携をとりながら地域医療に貢献します。
- 職員が誇りを持って働ける職場づくりに取り組みます。

内科

内科には幅広い病気がありますが、肺炎などよく耳にする病気でも病気の状態によってその対応は比較的単純なものから高度に専門的なものまで様々です。当院ではそれぞれの内科医が専門性（得意分野）をもちながら広く内科の病気を診ております。



福津市・宗像市で、
膠原病や腫瘍内科、
血液疾患の
専門医がいるのは、
当院のみです！

心臓病

心不全（心臓の働きが悪くなる病気）や不整脈（脈が乱れて遅くなったり速くなったりする病気）を中心とした心臓病を診ています。胸が痛い、息が苦しい、むくみが出るなどの症状がみられる方はご相談ください。

糖尿病

糖尿病はありふれた病気ですが、血糖が高い状態を放置すると失明、腎不全、心臓発作などをおこすこともある怖い病気でもあります。早い時期から生活習慣の改善やお薬などを使って血糖を管理すればこれらの合併症を防ぐことが可能ですので早めにご相談ください。

腫瘍内科

抗がん剤はがんの治療の大きな柱の一つですが、その使用には専門的な知識が欠かせません。当院では外科や放射線科と連携を取りながら消化器がんを中心としたがんの治療に携わっています。

肝臓病

肝臓は病気になってもかなり進行しないと症状が現れないため「物言わぬ臓器」と呼ばれており、気が付いた時には手遅れとなることもあります。当院では肝炎、脂肪肝、肝硬変、肝がんなどの診断、治療を行っています。特にB型肝炎やC型肝炎は最近良いお薬が登場しています。

関節リウマチ・膠原病

免疫の異常が原因でおこる病気、関節の痛みをはじめとして皮膚や内臓などにさまざまな問題を生じます。最近では複数の良い新薬が開発され病気の進行を抑えることが可能となりました。

血液疾患

血液の病気でも多いのは貧血ですが、その他にも血液中の細胞（赤血球、白血球、血小板）に問題が生じる病気がいろいろとあります。診断をつけるために骨髄を調べたり、お薬の投与や輸血を行う場合もあります。

診療科目のご案内

手術後の回復が早い
腹腔鏡手術が可能です



外科

胃や大腸、肝臓などの消化器や乳腺を中心とした外科治療をおこなっています。特にそ径ヘルニア、大腸がん、胃がん、胆石症に対しては90%以上が腹腔鏡手術です。腹腔鏡手術は内視鏡という細いハイビジョンカメラを使っておこなう繊細な手術です。腹腔鏡手術は、傷が小さく、痛みや出血も少ない、身体にやさしい手術です。手術後の回復も早いので安心して受けることができます。

腎臓内科

糖尿病、高血圧、慢性腎炎などのために腎臓の働きが徐々に低下していく状態のことを慢性腎臓病（CKD）と言い、成人の8人に1人がかかっていると言われています。進行が緩やかな場合も多いですが、最終的に腎臓が機能しなくなり、人工透析が必要となる患者さんも約360人に1人います。腎臓病は有効な治療が少ないものの、早めに食事・薬物療法を行うことで進行を遅らせることが可能です。慢性腎臓病は進行しないと自覚症状はありませんので、健康診断などで検尿異常や腎機能低下を指摘された場合は、たとえ症状がなくても是非一度ご相談ください。



健康診断などで
指摘された場合は、
ぜひご相談ください

放射線科

胃カメラや大腸カメラを使って、胃がん、大腸がん、大腸ポリープなどを発見し、治療をおこなっています。早期に発見された胃がんや大腸がんに対しては内視鏡を使って治療します。これは内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）と言われ、当院では積極的に取り組んでいます。当科の医師は九州大学病院や九州がんセンターで研鑽を積んでおり、それらの病院と同様の内視鏡診療をおこなっています。胃がんや大腸がんであっても、早期に見つかり内視鏡によって完全に切除できればがんは完治したと言え、治療前と変わらない生活を送ることができます。

早期に発見された
がんを内視鏡で
取り除きます



心臓、腎臓の
専門外来もあります



小児科

令和2年4月から入院対応が可能になりました。外来は、月曜は菅、木曜は松尾が診療しています。また、救急車も受け入れています。通常の小児疾患はもちろん、菅は血液・免疫疾患、松尾は内分泌疾患の専門です。もしお子さんに、よく熱を出す、顔色が悪くて疲れやすい、青あざがしやすい、あるいは、尿量が多い、水をたくさん飲む、背が小さい、太っている、などのご心配事があれば、かかりつけの先生にご相談の上、紹介していただければと思います。また、心臓（水曜午後）と腎臓（木曜午後）の病気も、九大小児科からの非常勤医師が専門外来を担当しており、いずれも予約制です。

健診センター

お問い合わせ TEL:0940-37-0007

健診センターでは、人間ドック、特定健診（住民健診）、各種がん検診（肺、胃、大腸、婦人科、乳腺マンモグラフィー、乳腺エコー）、職場の定期健康診断や雇入れ時健診をしています。また、保健師による保健指導もおこなっています。当センターの人間ドックでは、採血や検尿、便潜血の結果が受診当日に出ます。検査に異常があった場合、ご希望があればその日のうちに宗像医師会病院を受診することも可能です。感染対策をおこないながら、丁寧な健診を実施できるよう職員一同日々努力しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

宗像医師会病院
健診センター

受付時間
平日 午前 8:30~10:30
午後 13:00~15:30
休診日
土曜・日曜・祭日

当院の入退院 および在宅療養支援

病院には医師や看護師のほか薬剤師、リハビリスタッフ、管理栄養士、社会福祉士などさまざまな役割の職員がいます。それぞれの専門知識を活用してチームとして患者さんを支援するのはもちろん、行政や訪問医師・看護師、介護支援スタッフなどと連携し、24時間体制で患者さんの在宅療養を支えています。



病棟のご案内

1・2・3病棟 (一般病棟)

1病棟は消化器・胆管膵疾患・乳腺の外科的治療及び内視鏡的治療の病棟で、主に手術を目的とする患者さんが入院される外科病棟です。2病棟は内科疾患及び化学療法、内視鏡的治療や透析治療を受け入れる急性期病棟です。3病棟は循環器、呼吸器、糖尿病、膠原病を中心とした内科病棟と小児科病棟です。

5病棟 (地域包括ケア病棟)

一般病棟で治療された患者さんの退院準備をする病棟です。日常生活の動作を維持・向上するためのリハビリや安心してご自宅に戻れるよう生活環境を整えたり、必要な医療処置の練習などをおこないます。また、在宅療養中の方を緊急時に受け入れる病棟でもあります。

6病棟 (緩和ケア病棟)

緩和ケアを必要とするがん患者さんのための病棟です。終末期に限らずがんの症状緩和(痛み等)が困難な患者さんも多く入院しており、全室個室でご家族とも静かでゆっくりとした時間を過ごしていただけます。症状が緩和したあとは安心してご自宅に退院できるようお手伝いもさせていただきます。

病気になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援しています。

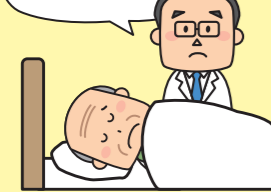
CASE

急性期病棟で入院治療

数年前に脳梗塞を起こし、デイサービス利用中のAさん。数日体調が悪くかかりつけ医を受診したところ肺炎と診断され、当院に紹介入院されました。



まずは肺炎を治しましょう



Aさん、ご家族と面談し、ご自宅での状況をおうかがいします。安心して退院いただけるよう関係者間で病状を共有します



肺炎の症状は落ち着きましたが、食事が上手に飲み込めず、トイレも一人で行けません。

熱が下がったから早く家に帰りたいなあ

元気になったけどなんだか食事がうまくできないみたい

トイレにも一人で行けないわ

飲み込みが悪いですね。足腰も弱くなっているのでリハビリが必要です



地域包括ケア病棟

に移ってリハビリ強化

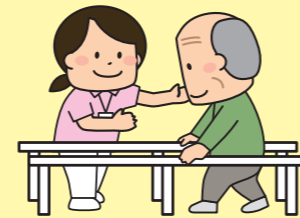
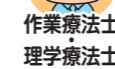


安心して自宅での生活ができるよう準備を始めましょう

飲み込みの練習をしましょう



体の動きを維持・向上させるリハビリをします



飲み込みやすい薬の形態を考えましょう。



食事の調理方法に工夫が必要です



退院準備

Aさんとご家族、ケアマネジャー、病院スタッフで退院後の支援について話し合いをします。自宅に訪問し、手すりなどの準備も始めます。自宅での介護が困難な時はAさんにあった施設や医療機関を紹介します



ご自宅を訪問して生活環境を整えます



ご家族に負担の少ない介護方法を指導します



デイサービスでリハビリを続けましょう



私たちもいっしょにサポートします！



退院へ

ご相談ください

外来通院中の方も同様に対応しております。病気の進行などでからだの動きが悪くなるなど、ご心配やご不安なことがありましたら、いつでもスタッフにご相談ください。

